

「社の杜につつまれた素敵タウン・一宮」をめざして

一宮ふれあい瓦版

題字は中尾絹代さん

企画・編集：一宮コミュニティ
計画推進市民会議
発行責任者：濱渦海南男
連絡先：高知市地域コミュニティ推進課(823-9080)
発行：令和2年9月28日
No. 55

令和2年度

一宮ふれあいまつり開催中止を決定

新型コロナウイルス感染拡大防止を優先

令和2年7月9日、一宮ふれあいセンターに第19回一宮ふれあいまつりの役員が集合し、令和2年度一宮ふれあいまつりの準備会が開かれました。

コロナ禍の中、高知市内外の様々な行事が中止となっている状況で、準備会の中でも開催の是非について話し合いました。

コロナ禍での大規模イベント開催の必須条件なども確認しながら、皆が受け入れられる形で開催できるように協議を重ねましたが、結果としては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、準備会参加者の満場一致で令和2年度の一宮ふれあいまつりは中止することとなりました。

一宮地区のお祭りとして定着しているふれあいまつりが中止になることは残念ですが、来年以降、より安全より楽しめるお祭りが開催できるよう、しっかりと充電いたします。

(一宮ふれあいまつり準備会)

●一宮ふれあいまつり準備会の様子(ふれあいセンター)



一宮地区の高齢者に手作りマスク寄贈

県立東高校看護科の生徒より約70枚

高知県立高知東高等学校 看護科の生徒が一宮地区の高齢者に新型コロナウイルスへの感染を予防してもらいたいと作成した約70枚の手作り布マスクが一宮コミュニティに寄贈されました。

寄贈は令和2年9月15日(火)に一宮ふれあいセンターで行われ、一宮コミュニティの濱渦代表が受け取り、一宮コミュニティからは感謝状を贈りました。

手作りの布マスクは1枚1枚が丁寧に包装され、それぞれに手書きのメッセージが添えられています。

一宮コミュニティでは、寄贈された布マスクを一人でも多くの方に役立ててもらえるように配布する準備をしています。

(一宮コミュニティ計画推進市民会議)



●寄贈されたマスク(一部)



●ふれあいセンターでの寄贈式

●大谷川河川改修工事のお知らせ

浸水被害の軽減を図るため、大谷川河川改修工事を行います。以下のとおり行うこととなりました。工事に際しましては、県道の時間通行止、両工区の片側交互通行規制の必要があります。ご通行の皆様には何かと迷惑をおかけしますが、騒音・振動・通行制限(ガードマンの配置)など、極力軽減できるよう努力し安全かつ迅速に進めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

◆お問い合わせ先

高知県高知土木事務所 河川管理課

電話：088-882-8134

担当：岡添、森田

工事期間：令和2年9月28日～令和3年3月25日

◎県道(2工区)の時間通行止について

(10月1日～11月30日のうち14日間程度の見込み)

時間通行止の内容：

9時～16時まで(50分通行止10分通行可)

◆位置図



●一宮コミュニティ計画推進市民会議が

令和2年度の取り組みをスタート!

「コロナ禍で4カ月遅れで総会開催」

「コロナ禍の中、開催が延期されていましたが一宮コミュニティ計画推進市民会議の令和2年度総会を令和2年7月16日、一宮ふれあいセンターで開催しました。総会では令和元年度活動報告及び決算報告、令和2年度の活動方針を満場一致で採択し、新年度が無事にスタートしました。」

【令和2年度の役員体制】

「コロナ禍により、活動期間が9カ月と短縮された事もあり、令和2年度の役員体制は令和元年度に引き続いた体制で行うこととなりました。」

【令和2年度の活動目標】

・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から新しい生活様式を取り入れて、これまでの支え合いのまちづくりやつなぐ役割は継続する。

・一宮地区の住民に「コミュニティ」の活動を周知し、様々な年代の住民が、興味を持てる活動を実施し活動に参加してくれるメンバーを増やす。

令和2年度役員体制

代表	濱渦 海南男
副代表	長崎 美子 川井 洋子
事務局長・会計	竹口 伸也 (福祉部)
事務局次長	中尾幸二郎 (安心安全部) 西山 尚孝 (青年部) 公文 紳之 (農園部)
監査	小笠原 貴紀 中谷 博淳
世話人	北村 昌久 千村 幸子 松本 啓作 福原 次善 (土佐いっく 成年団) 馬場 敦久

※定例会は毎月第3木曜日午後7時からふれあいセンターで開催、どなたでも大歓迎！
連絡先：竹口 ☎ 090-2891-6496

●ほおっちょけん相談窓口開設

一宮地区にも3か所の相談窓口が開設

高知市では、「誰もが安心して暮らせるつながりのあるまちづくり」を目指して、昨年11月より、「ほおっちょけん相談窓口」が市内のモデル地区5地区で開設され、一宮地区にも、3か所の相談窓口が出来ました。ほおっちょけん相談窓口とは「誰に相談したらいいかわからない」「電球の交換ができない」「市役所まではちょっと相談に行きづらい」「聞いてみたいな子育てのあれこれ」「など、生活に関するちょっとした困りごとを支援機関につなぐ相談窓口です。どなたでもお気軽にご相談できます。ぜひご利用ください。」

このマークが目印!!



◆お問い合わせ先

高知市健康福祉部健康福祉総務課
地域共生社会推進室
電話：088-823-9440

高知市社会福祉協議会地域協働課
電話：088-856-5539

●一宮地区のほおっちょけん相談窓口

特別養護老人ホームウエルプラザ高知 住所：一宮しなね2丁目 15-19 電話：088-855-8820 開設時間：月曜～金曜 10:00～16:00
特別養護老人ホーム絆の広場 住所：一宮南町1丁目 4-75 電話：088-846-5001 開設時間：月曜～金曜 10:00～16:00
病院通薬局あそこの店 住所：薊野北町2丁目 10-51-14 電話：088-846-2771 開設時間：月曜～金曜 8:30～17:30 ：土曜(隔週) 8:30～12:30 ：土曜(隔週) 8:30～17:30

◆ほおっちょけん相談窓口

実際にあった相談

- 寝室の電球が切れたが電気屋も分からないので、誰に相談したらよいか分からない。
- ケガをしていて薬を取りに行けなくて困っている。
- 近くのスーパーが閉店して買い物に困っている。
- 体温計はありませんか？

どなたでもお気軽にご相談ください!!

●令和2年7月豪雨、義援金募金活動の報告

令和2年7月豪雨(7月3日から7月31日)にかけて、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨の発生を受け、一宮コミュニティ計画推進市民会議では業務用食品スーパー一宮店(9月6日)、マルナカ一宮店(9月13日)の店頭で義援金の募金活動を行いました。

募金活動の二日間は雨に降られる事もなく、コロナウイルス感染症予防を意識しながらも、皆様の温かい善意が集まり、義援金は二日間で合計66,398円になりました。

集まった義援金は9月14日に高知県(会計管理課)に振り込みを行い、日本赤十字社を通じて被災者支援に活用されます。募金活動にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(一宮コミュニティ計画推進市民会議 事務局)

